■困ったときは(サポートのご案内)

ホームページで調べる

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる(おかけ間違いにご注意ください。)

テクニカルインフォメーションセンター
- **ナビダイヤル** 0570-00-0066
  (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
- **携帯電話・PHSでのご利用は** 0466-38-0253
  (ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください。)

受付時間:月～金曜日:午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日:午前9時～午後5時
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY

Cyber-shot

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

DSC-G1

「サイバーショット ハンドブック」(PDF)もご覧ください。

付属のCD-ROMにPDF形式で収録されている「サイバーショットハンドブック」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。パソコンでご覧ください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

2-898-083-**02** (1)

お使いになる前に必ずお読みください

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや“メモリースティック デュオ”のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(33ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(33ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面についてのご注意

液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz 帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。
   テクニカルインフォメーションセンターについては、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

この無線機器は2.4GHz 帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m 以下です。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

⚠警告 安全のために

34 ～ 36ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやバッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

➡

1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

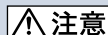
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

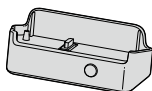
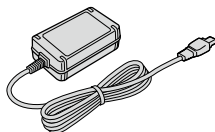
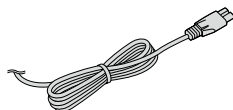
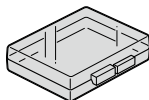
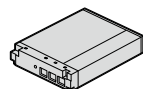
電池について

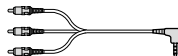
安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

目次

付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- サイバーショットステーション（1）

- ACアダプター AC-LS5（1）

- 電源コード（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FR1（1）/
バッテリーケース（1）

- USBケーブル（1）

- A/Vケーブル（1）

- リストストラップ（1）

- CD-ROM（1）（サイバーショットアプリケーションソフトウェア/サイバーショットハンドブック）
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

準備1：バッテリーを入れる

❶

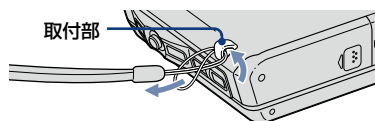
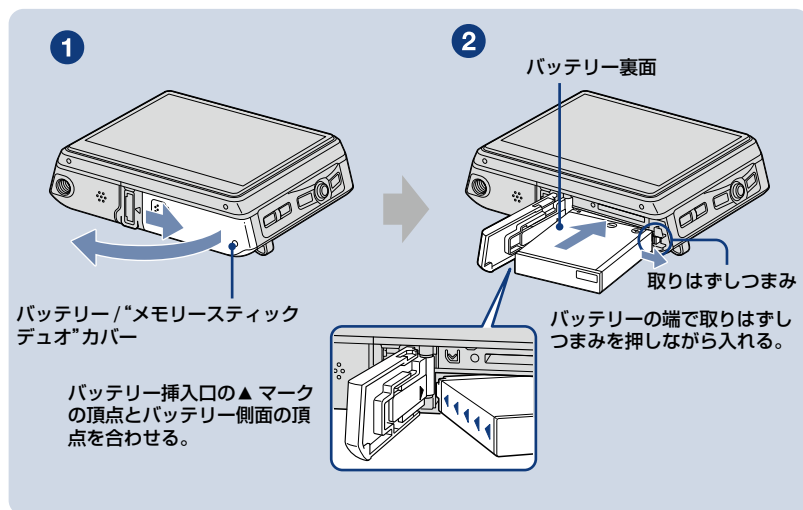
❷

バッテリー裏面

取りはずしつまみ

バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバー

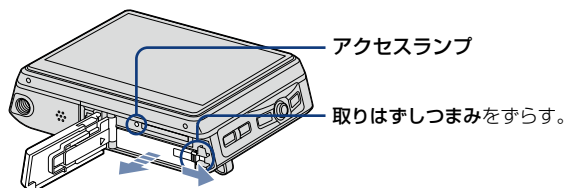
バッテリーの端で取りはずしつまみを押しながら入れる。

バッテリー挿入口の▲ マークの頂点とバッテリー側面の頂点を合わせる。

❶ **バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを開ける。**

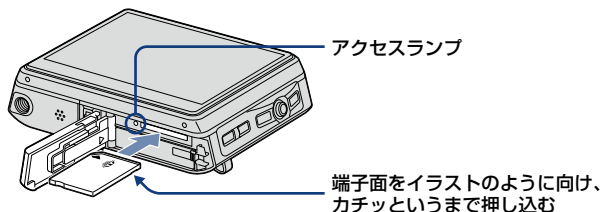
❷ **バッテリーを入れる。**

❸ **バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを閉じる。**

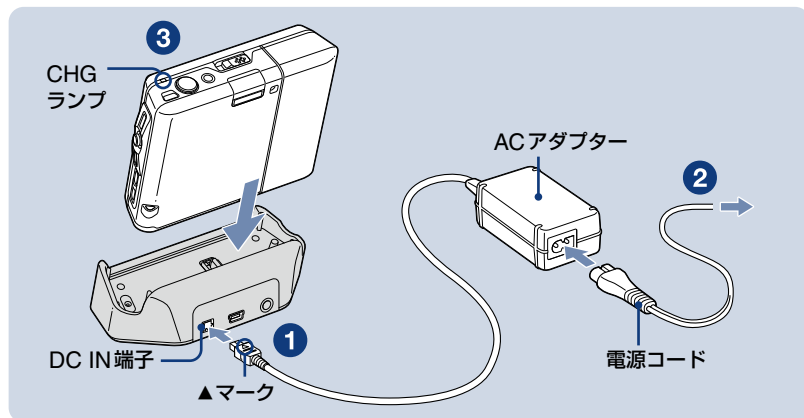
バッテリーを取り出すときは

バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを開いて取り出す。

- バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- アクセスランプ点灯中は取りはずさないでください。データが壊れることがあります。

“メモリースティック デュオ”（別売）に記録するときは

本機は内蔵メモリーに撮影画像を記録しますが、“メモリースティック デュオ”（別売）に記録することもできます。

取り出すときは、“メモリースティック デュオ”を押して取り出します。

- アクセスランプ点灯中は取りはずさないでください。データが壊れることがあります。
- “メモリースティック デュオ”を入れていても、ホーム画面で[記録優先メディア]が[内蔵メモリー]になっている場合は、内蔵メモリーに記録されます（20ページ）。

準備2：バッテリーを充電する/本機を設置する

❶ **ACアダプター（付属）のケーブルをサイバーショットステーション（付属）のDC IN端子につなぐ。**

❷ **電源コードをACアダプターと壁のコンセントにつなぐ。**

❸ **本機をサイバーショットステーションに取り付ける。**

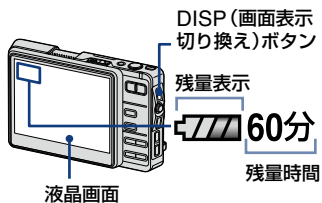
CHGランプが点灯して、充電を開始します。
CHGランプが消灯すると、充電終了です（満充電）。

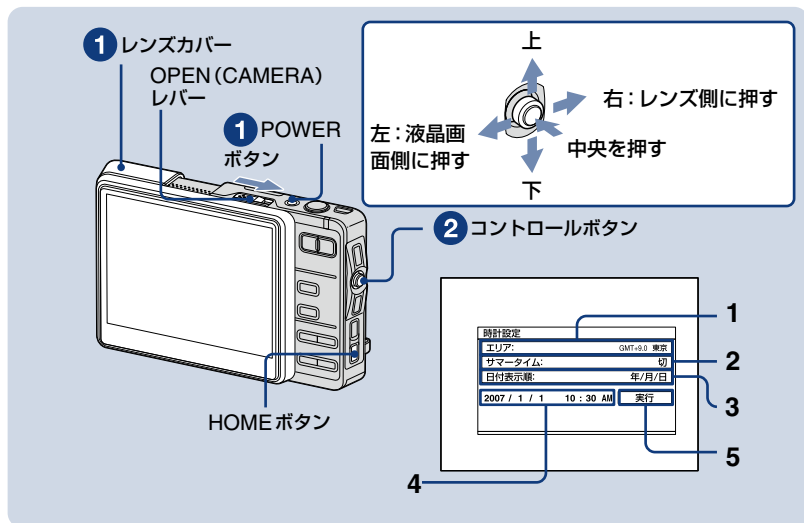
充電時間

バッテリー	満充電
NP-FR1	約240分

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- 使用可能時間については、29ページをご覧ください。
- 充電が完了してCHGランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は、ACアダプターをサイバーショットステーションのDC IN端子と壁のコンセントから取りはずしてください。

バッテリーの残量を確認するときは

レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。
残量時間が表示されていないときは、DISP（画面表示切り換え）ボタンを押して画面表示を切り換えます。

- 正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。
- モードによっては、▭ だけの表示になります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（11ページ）。

準備3：電源を入れ、時計を合わせる

1 POWERボタンを押すか、レンズカバーを開ける。

2 コントロールボタンで時計を合わせる。

1-① ［エリア］を選び、中央を押す。
② 希望のエリアを選び、中央を押す。

2-① ［サマータイム］を選び、中央を押す。
② サマータイムの入/切を選び、中央を押す。

3-① ［日付表示順］を選び、中央を押す。
② 希望の表示順を選び、中央を押す。

4-① 日時、日付の各項目を選び、数値を設定して、中央を押す。
② 日時、日付のすべての項目を設定する。

5 ［実行］を選び、中央を押して決定する。

- 本機で［サマータイム］を［入］にすると、時計が1時間進みます。日本国内で選ぶときは、［切］を選びます。

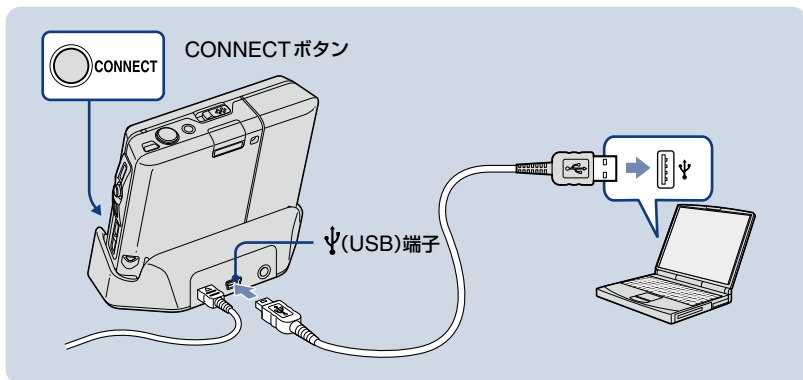
時計合わせをやり直すときは

HOMEボタンを押して、［ ］（設定）→［ 時計設定］を選ぶ（21ページ）。

電源を入れたときのご注意

- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間動作しないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます（オートパワーオフ機能）。

準備4：本機とパソコンを接続する

付属CD-ROMに収録されたアプリケーションを使うと、本機で撮影した画像をパソコンで見ることができます。
また、「サイバーショットハンドブック」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。

USBケーブル（付属）でパソコンとサイバーショットステーションを接続し、CONNECTボタンを押す。

「サイバーショットハンドブック」を見る

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。
以下の画面が表示されます。

［サイバーショットハンドブック］ボタンをクリックすると、「サイバーショットハンドブック」をインストールする画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、「サイバーショットハンドブック」をインストールする。

3 インストールが完了したら、デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。

2 "Handbook"フォルダを開き、"JP"フォルダの中の"Handbook.pdf"をコピーする。

3 コピーが完了したら、"Handbook.pdf"をダブルクリックする。

ソフトウェアをインストールする

「Album Editor」・「Picture Motion Browser」使用時の推奨環境

Windows 2000 Professional（SP4以降必須）、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

- 工場出荷時に上記いずれかのOSがインストールされている必要があります。
- 「Album Editor」、「Picture Motion Browser」は、Macintoshには対応していません。
- 「Album Editor」、「Picture Motion Browser」の動作環境について詳しくは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

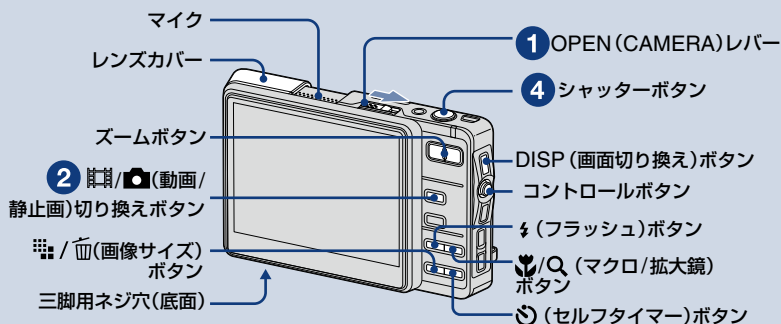
1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。

以下の画面が表示されます。

［インストール］ボタンをクリックすると、言語の選択画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、ソフトウェアをインストールする。

3 インストールが完了したら、デスクトップ上のショートカットから起動する。

撮影する

1 OPEN(CAMERA)レバーをひいて、レンズカバーを開く。

「カチッ」と音がするまで開く。

2 /(動画/静止画)切り換えボタンでモードを選ぶ。

押すたびに、静止画モードと動画モードが切り換わる。

3 脇を締めて構え、構図を決める。

被写体を液晶画面中央部におさめる

4 シャッターボタンで撮影する。

オリジナル画像とは別に小サイズのアルバム画像が本機の内蔵メモリーに記録される。

静止画のとき:

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

緑の●(AE/AFロック表示)が点滅し、「ピピッ」という音がして点灯する。

2 シャッターボタンを深く押し込む。

AE/AFロック表示

動画のとき:

シャッターボタンを深く押し込む。

録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

ズームする

ズームボタンを押す。

- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。

フラッシュ(静止画のフラッシュモードを選ぶ)

(フラッシュ)ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。

AUTO:フラッシュオート

光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)。

:フラッシュ強制発光

SL :スローシンクロ(強制発光)

暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

:フラッシュ発光禁止

マクロ撮影/拡大鏡モード撮影(被写体に近接して撮る)

/ (マクロ/拡大鏡)ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。

OFF:マクロ切(お買い上げ時の設定)

:マクロ入(W側:約8 cm以上、T側:約25 cm以上)

:拡大鏡入(W側固定:約1 ~ 20 cm)

セルフタイマーを使う

(セルフタイマー)ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。

OFF:セルフタイマー解除

10:セルフタイマーを10秒後に設定

2:セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。

セルフタイマーランプ

/ 画像サイズを変える

/ (画像サイズ)ボタンを押し、コントロールボタンで設定を選ぶ。

画像サイズメニューを消すには、もう一度 / を押す。

静止画のとき

画像サイズ	推奨
6M:6M	A4サイズまでの印刷
3:2 :3:2	縦横比3:2での撮影
3M :3M	2L判サイズまでの印刷
2M :2M	L判サイズまでの印刷
VGA:VGA	Eメールでの送付など
16:9 :16:9	ハイビジョンTVでの鑑賞

動画のとき

画像サイズ	推奨
640:640×480	テレビでの鑑賞
320:320×240	Eメールでの送付など

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。DISP(画面表示切り換え)ボタンを押すと表示されます。

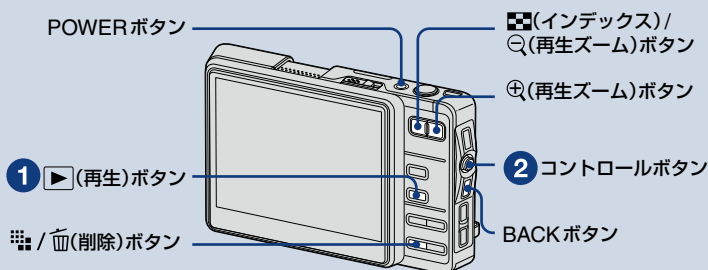
静止画のとき

撮影可能枚数

動画のとき

最大記録可能時間

- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります(30ページ)。

再生する/削除する

1 ▶(再生)ボタンを押す。

レンズカバーが閉まった状態のときは、POWERボタンを押して電源を入れるだけで再生モードになります。

2 コントロールボタンを左右に動かして、画像を選ぶ。

左に動かすと前の画像が、右に動かすと次の画像が表示される。

動画のとき： コントロールボタンの中央を押して再生する。（再生を中止するにはもう一度押す）
コントロールボタンを右に押し続けると早送り、左に押し続けると巻き戻しする。（通常再生に戻るにはもう一度中央を押す）
音量を調節するには、コントロールボタンを上下に動かす。

/ 削除する

1 削除したい画面を表示中に、 / (削除)ボタンを押す。

2 コントロールボタンで[オリジナル画像のみ削除]か[アルバムからも削除]かを選び、中央を押す。

再生ズーム（拡大して見るときは）

静止画を再生中にボタンを押すとズームできる。ボタンで戻る。

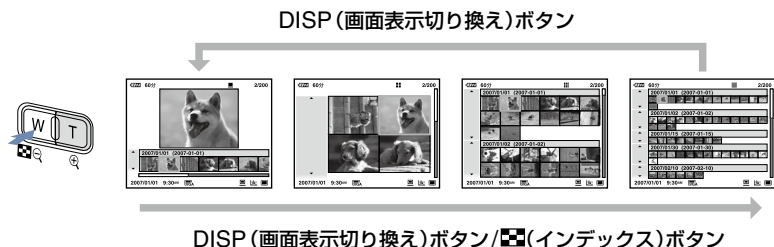
ズーム位置変更：コントロールボタンを上下左右に動かす

ズーム中止：BACKボタンを押す

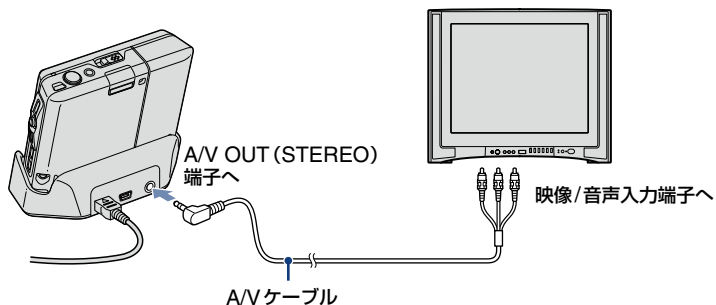
インデックス（一覧表示）画面を使う

（インデックス）ボタンを押すと、インデックス画面に切り換わる。
DISP（画面表示切り換え）ボタンまたは （インデックス）ボタンを押すたびに、画面が下記のように切り換わります。

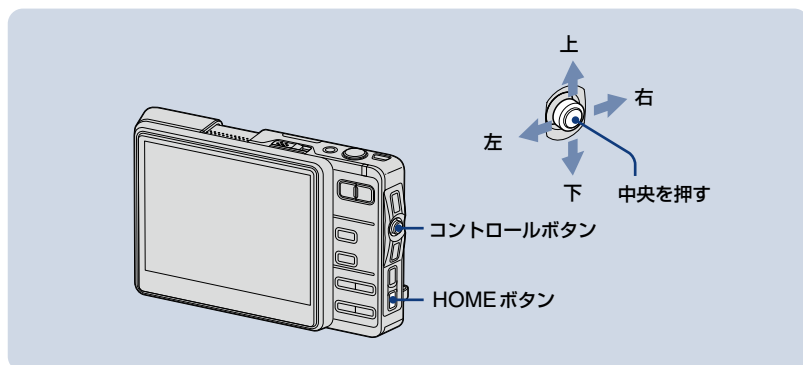
DISP（画面表示切り換え）ボタン

DISP（画面表示切り換え）ボタン/（インデックス）ボタン

コントロールボタンで画像を選ぶ。
コントロールボタンの中央を押すと、シングル画面に戻る。

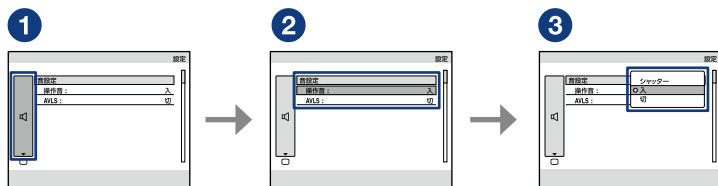
テレビで見る

付属のA/Vケーブルでテレビと接続する。

機能を使いこなすーホーム/メニュー

ホーム画面の操作方法

ホーム画面とは、本機の機能の入り口になる基本の画面です。撮影モード/再生モードに関わらずアクセス可能です。

1. HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

2. コントロールボタンを左右に動かし、カテゴリーを選ぶ。
3. コントロールボタンを上下に動かし、項目を選ぶ。
4. コントロールボタンの中央を押して実行する。

[ ]（メディアツール）、[ ]（設定）を選んだときは

1 [ ]（設定）の[本体設定]を選んだときは、コントロールボタンを上下に動かし、設定したい項目を選ぶ。

2 コントロールボタンを右に動かして、項目選択画面に移動し、コントロールボタンを上下に動かして、項目を選び、中央を押す。

3 コントロールボタンを上下に動かして、設定項目を選び、中央を押して設定する。

操作方法は18ページ

ホーム一覧

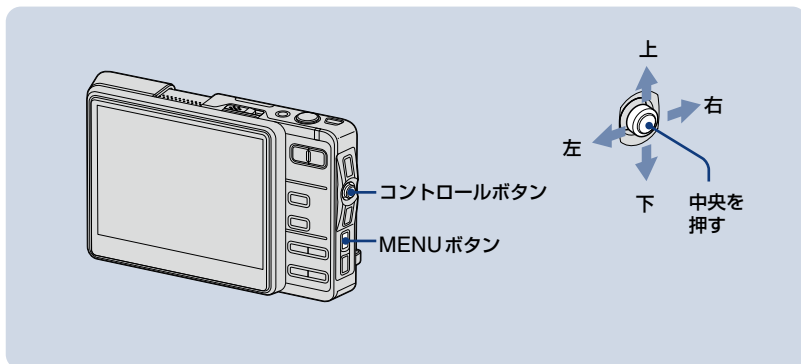
HOMEボタンを押すと下記項目が表示されます。
各項目の詳細は、ガイドに表示されます。

カテゴリー	項目	
カメラ	静止画 動画	
ビューワー	アルバム メモリースティック 最後に撮った画像 最後に見た画像 スライドショー	
ミュージック	音楽プレーヤー	
コミュニケーション	コラボショット ピクチャーギフト	
ツールボックス	印刷 画像公開	
メディアツール	全般 　メディア使用量表示 　記録優先メディア	 ファイルナンバー アルバムチェック
	メモリースティック 　フォーマット 　記録フォルダ変更	 記録フォルダ作成
	内蔵メモリー 　画像読み込み 　フルフォーマット	 フォーマット

操作方法は18ページ

カテゴリー	項目	
設定	本体設定	
	音設定	
	操作音	AVLS
	画面設定	
	言語	ホームデザイン
	機能ガイド	LCD明るさ
	一般設定	
	設定リセット	USB接続
	ビデオ信号出力	
	時計設定	
	時計設定	
	カメラ設定	
	画像サイズ[静止画]	画像サイズ[動画]
	AFモード	デジタルズーム
	赤目軽減	AFイルミネーター
	手ブレ補正	縦横判別
	ミュージック設定	
	リピート	MEGA BASS
	LCD自動オフ	
	ネットワーク設定	
	アクセスポイント	ネットワーク省電
	ニックネーム	画像交換暗証キー

メニュー画面の操作方法

メニュー画面では、撮影・再生時に使う機能を選びます。

1. **MENU ボタンを押し、メニューを表示する。**

   • モードの違いにより使用できる項目が異なります。

機能ガイド
[機能ガイド]を[切]にすると、ガイド表示を消すことができます(21ページ)。

2. **コントロールボタンを上下に動かし、設定するメニュー項目を選ぶ。**

3. **コントロールボタンを左右に動かし、設定を選ぶ。**

   • 設定する設定がかくれている場合は、表示されるまで左右に動かす。
   • 再生モードのときは、設定選択後、中央を押す。

4. **MENU ボタンを押し、メニュー表示を消す。**

メニュー一覧

カメラ設定や、撮影モード・再生モードの違いにより使用できる項目が異なります。本機の画面には、使用できる項目のみ表示されます。

撮影時に使うメニュー

カメラ	静止画のカメラモードを選ぶ。 AUTO：カメラまかせで自動撮影する。 PGM：露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する。それ以外の設定は、メニューで設定する。 SCN：あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影する。
シーン	SCN（シーンセレクション）を設定する。
EV	露出を手動補正する。
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。
ISO	受光感度を調整する。
撮影モード	連写を設定する。
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調節する。
カメラ設定	撮影機能に関する設定をする。

再生時に使うメニュー

（アルバム）/ （フォルダ）	見たいアルバムを時系列で検索したり、本機が自動で作成したアルバムを結合・分割する。
（画像管理）	画像を削除したり、誤って消さないように保護（プロテクト）する。
（画像編集）	画像を回転したり、画像のサイズを変更する。
（ラベル）	画像にラベルを登録する。
（検索）	画像を検索する。
（印刷）	画像をプリントする。
（スライドショー）	スライドショー（連続再生）を設定する。
（インポート）/ （エクスポート）	"メモリースティック デュオ"の画像をアルバムにコピー（インポート）したり、アルバム画像を"メモリースティック デュオ"にコピー（エクスポート）する。
（詳細情報表示）	選択している画像の詳細データを表示する。

パソコンを使って、付属のソフトウェアを活用する

ソフトウェアの詳しい使いかたについては、「サイバーショットハンドブック（PDF）」または、ヘルプをご覧ください。

「Album Editor」

本機で撮影した画像を編集し、より検索しやすくするために「Album Editor」が収録されています。
「Album Editor」をご利用されると、次のことができます。

- アルバムに名まえを付ける
- アルバムを結合・分割する
- 画像にコメントを付ける
- アルバムや画像のプロパティ編集
- 画像のパソコンへのコピー
- パソコンの画像を本機に取り込む
- 検索情報を付ける
- 本機のデータをすべてバックアップする。カメラ内のデータが破損したときのために、定期的にバックアップすることをおすすめします。
- バックアップした時点でのデータに復元する。

ヘルプを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[Album Editor]の順にクリックします。

「Album Editor」を起動/終了するには

起動する

サイバーショットステーションのCONNECTボタンを押す。

終了する

画面右上の[☒]ボタンをクリックする。

「Picture Motion Browser」

本機で撮影した静止画や動画をよりいっそうご活用いただくために、「Picture Motion Browser」が収録されています。
「Picture Motion Browser」をご利用されると、次のことができます。

- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧できます。
- 静止画の補正、印刷、メール送信、撮影日時の変更などの活用ができます。

ヘルプを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[Picture Motion Browser]の順にクリックします。

「Picture Motion Browser」を起動/終了するには

起動する

デスクトップ上の[Picture Motion Browser]をダブルクリックする。
スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[Picture Motion Browser]の順にクリックする。

終了する

画面右上の[☒]ボタンをクリックする。

ワイヤレスLAN機能を楽しむ

本機はDLNA（Digital Living Network Alliance）に対応しており、他のDLNA対応機器とワイヤレスLANでの接続が可能です。さらに詳しい使いかたについては、「サイバーショットハンドブック（PDF）」をご覧ください。

DSC-G1間で画像を交換する

アクセスポイントを経由しないで、DSC-G1間で直接、通信を行います（アドホックモード）。
WLANボタンを同時に押すことにより、ネットワーク接続が始まります。

コラボショット

カメラで撮影した画像を、WLAN（ワイヤレスネットワーク）経由で接続しているカメラに自動的に送ります。画像の共有は4台間で可能です。

ピクチャーギフト

カメラに保存している画像を、WLAN（ワイヤレスネットワーク）経由で接続しているカメラと交換することができます。
送る側が画像を選んだ時点で、取得する側のインデックス表示領域に画像が表示されます。

画像を公開する

アクセスポイントを経由して、本機をネットワークに接続します（インフラストラクチャーモード）。
本機はDLNA1.0に準拠しており、DLNA接続できるテレビであれば、ケーブルで接続しなくても、アクセスポイント経由でテレビで本機の画像を見ることが可能です。

音楽を聞く

内蔵メモリー内のMP3ファイルを再生できます。
さらに詳しい使いかたについては、「サイバーショットハンドブック(PDF)」をご覧ください。

本機に音楽を取り込む

「マイミュージック」に保存された音楽ファイルを取り込む例を説明します。

1 本機とパソコンを接続し、CONNECTボタンを押す。

2 [スタート]→[マイミュージック]をクリック。
「マイミュージック」フォルダの内容が表示される。

3 コピーしたい音楽ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。

4 [マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[MUSIC]の順にダブルクリック。
次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。
「MUSIC」フォルダに音楽ファイルがコピーされる。

- 本機ではMP3ファイル形式でのみ対応しております。ATRAC3およびATRAC3plusには対応しておりません。

音楽を再生する

1 HOMEボタンを押し、[♫](ミュージック)→[♫ 音楽プレーヤー]をコントロールボタンで選び、中央を押す。
プレーヤー画面が表示される。

2 コントロールボタンの中央を押す。
再生が始まる。

ボタン操作を無効にするには

ボタンを押す。

一時停止するには

コントロールボタンの中央を押す。

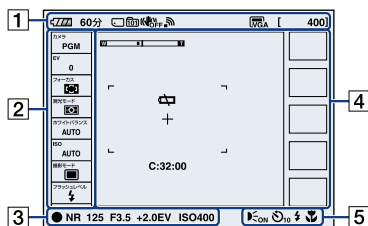
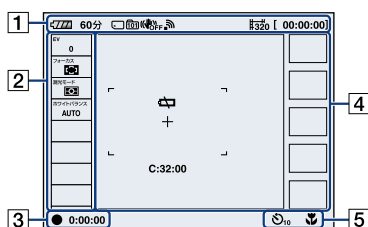
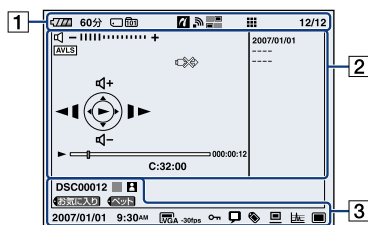
前の曲にする/次の曲にするには

コントロールボタンを左右に動かす。

音量を調節するには

コントロールボタンを上下に動かして音量を調節する。

画面の表示

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

60分	バッテリー残量
	記録メディア オリジナル画像の保存先
101	記録フォルダ 再生フォルダ
ON OFF	手ぶれ補正
	ネットワーク電波強度
6M 3:2 3M 2M VGA 16:9 640 320	画像サイズ
[400]	撮影残枚数
[00:00:00]	最大記録可能時間
	PictBridge接続
	検索フィルター
	インデックスモード
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数

2

	メニューで設定した内容
W T ×1.3	ズーム
− +	音量
AVLS	AVLS
C:32:00	自己診断表示
00:00:12	カウンター
	再生バー
► ❚❚ ►► ◄◄ ❚► ◄❚	再生 ► 再生 ❚❚ 一時停止 ►► 早送り ◄◄ 巻き戻し ❚► コマ送り ◄❚ コマ戻し

	動画操作ガイド ▶▶I/▶▶　スキップ/早送り ◀◀/I◀◀　スキップ/巻き戻し I▶　コマ送り ◀I　コマ戻し
	PictBridge接続中
2007/01/01 ----	情報表示エリア

3

●（緑） ●（赤）	AE/AFロック 動画撮影中
00:00:00	記録時間
スタンバイ	動画撮影スタンバイ
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	露出補正値
ISO400	ISO感度
DSC00012	ファイル番号
□	色認識
	顔認識
	ラベル
2007/01/01 9:30AM	画像の記録日時
6M 3:2 3M 2M VGA 16:9 640 320	画像サイズ
-30fps	フレーム数
	プロテクト
	コメント
	ラベル
	PCバックアップ（済/未）
	画像解析（済/未）
	オリジナル画像（有/無）

4

C:32:00	自己診断表示
	バッテリープリエンド
+	スポット測光照準
	AF測距枠
	履歴画像

5

ON	AFイルミネーター
	手ぶれ警告
10 2	セルフタイマー
SL	フラッシュモード
	マクロ/拡大鏡モード撮影

撮影/再生可能時間と枚数

バッテリー使用時間と撮影/再生枚数

下の表は撮影モードを[■]（通常撮影）にし、満充電したバッテリー（付属）で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。
- 次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュ多用時
  – 電源の入/切を繰り返したとき
  – ズームを多用したとき
  – LCDバックライトを明るくしているとき
  –[AFモード]が[モニタリング]のとき
  –[手ブレ補正]が[常時]のとき
  – バッテリーの容量が低下したとき
  – ネットワーク接続時

静止画撮影時

撮影枚数	使用時間
約280枚	約140分

- 撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。
  – [AFモード]：[シングル]
  – [手ブレ補正]：[撮影時]
  – 30秒ごとに1回撮影
  – 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
  – 2回に一度、フラッシュを発光する
  – 10回に一度、電源を入/切する
- 測定方法はCIPA規格による。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
- 画像サイズによって撮影枚数/使用時間が変化することはありません。

静止画再生時

再生枚数	使用時間
約4000枚	約200分

- 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生した数値。

動画撮影時

使用時間
約110分

- 画像サイズが[320]で連続撮影した数値。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間

記録枚数/時間は撮影状況によって異なる場合があります。

- 画像サイズについては、15ページをご覧ください。

静止画の記録枚数の目安

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"						
	約2GB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
6M	631	43	77	157	322	660	1305	2617
3:2	631	43	77	157	322	660	1305	2617
3M	1176	82	149	302	617	1266	2501	5017
2M	1846	134	238	484	988	2025	4002	8028
VGA	7502	791	1430	2906	5930	12155	20005	20005
16:9	1846	134	238	484	988	2025	4002	8028

- 撮影モードが[ ]（通常撮影）のときの枚数。
- 静止画の撮影残枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像サイズをあとで変更できます（[ ]（画像編集）、23ページ）。

動画の記録時間の目安

（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"						
	約2GB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
640×480	1:32:30	0:05:50	0:10:50	0:22:10	0:45:30	1:33:40	3:05:10	6:11:40
320×240	5:15:40	0:20:30	0:37:20	1:16:10	2:35:40	5:19:30	10:31:40	21:07:10

- 1回の撮影で記録できる時間は2時間までです。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
- 容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイルなどを含むため、実際使用できる容量は若干減少する場合があります。
- 1つの動画ファイルは約2GBで制限され、連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に記録が終わります。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。**

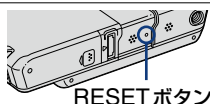
画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **レンズカバーを開いて、底面にあるRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる。**

この操作を行うと、日時設定は解除されます。

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）。**

• **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

• バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる（7ページ）。

電源が入らない。

• バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（7ページ）。
• バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（9ページ）。
• バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。
• 推奨バッテリーをお使いください（6ページ）。
• レンズカバーが開ききっていない。「カチッ」というまで開く。

電源が切れる。

• 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す（11ページ）。
• バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認する（30ページ）。
  いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（16ページ）。
  – "メモリースティック デュオ"を交換する。
- アルバム画像を内蔵メモリーに記録するため、空き容量がある"メモリースティック デュオ"を使っても、内蔵メモリーの容量がない場合は撮影できません。内蔵メモリーの不要な画像を削除する。
- "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを解除する。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画/動画撮影の設定が正しくできていない。/ （動画/静止画）切り換えボタンでモード設定する。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時には日付を入れて印刷することができます。

画像を見る

再生できない。

- Mass Storage接続でパソコンから本機に画像をコピーしたため、アルバム画像が存在していない。[画像読み込み]（20ページ）を行う。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。[画像読み込み]（20ページ）を行ってください。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプターとサイバーショットステーションを使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

“メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全に消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

安全のために

→ 4ページもあわせてお読みください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

指示

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

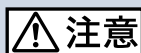
航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

禁止

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

⚠注意

指示

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池は混ぜて使わない。

お願い

リチウムイオン電池とニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion
リチウムイオン電池

Ni-MH
ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]
撮像素子：7.18 mm（1/2.5型）カラーCCD原色フィルター
総画素数：約6 183 000画素
カメラ有効画素数：約6 003 000画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー3倍ズームレンズf=6.33 ～ 19.0 mm（35 mmカメラ換算では38 ～ 114 mm）、F3.5 ～ 4.3
露出制御：自動、シーンセレクション（10モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球、フラッシュ
記録方式（DCF準拠）：
静止画：Exif Ver. 2.21JPEG準拠、DPOF対応
動画：MPEG-4準拠（ステレオ）
記録メディア：内蔵メモリー 約2 GB、"メモリースティック デュオ"
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）0.1～2.8 m（W）/ 0.25～2.2 m（T）

[入出力端子]
マルチ接続端子
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）
(ヘッドホン）端子：ステレオミニジャック

[液晶画面]
液晶パネル：8.8 cm（3.5型）TFT駆動
総ドット数：921 000（1 920 × 480）ドット

[電源・その他]
電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-FR1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.7 W
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～ +60 ℃
外形寸法：撮影時
113.8 × 71.7 × 25.3 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
再生時
93.3 × 71.7 × 25.3 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量：約238 g（バッテリー NP-FR1、リストストラップなど含む）
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル（ヘッドホン（別売）：ステレオ）
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

サイバーショットステーションUC-GA

[入出力端子]
A/V OUT （STEREO）端子（ステレオ）：ミニジャック
映像出力、音声出力（ステレオ）
(USB）端子：mini-B
USB通信：Hi-Speed USB
（USB 2.0 Hi-Speed準拠）
DC IN端子
カメラ接続端子

ACアダプター AC-LS5
定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、11 W
定格出力：DC 4.2 V*
*その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。
動作温度：0 ～ +40 ℃
保存温度：－20 ～ +60 ℃
外形寸法：約48 × 29 × 81 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量：約130 g（本体のみ）

リチャージャブルバッテリーパック NP-FR1
使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：4.4 Wh（1 220mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Cyber-shot はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"、"マジックゲート"および MAGICGATE はソニー株式会社の商標です。
- "InfoLITHIUM（インフォリチウム）"はソニー株式会社の商標です。
- ATRAC3、ATRAC3plusはソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

- Macintosh、Mac OS、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- GoogleはGoogle Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEのもと、次の用途に限りライセンスされています。

(i)消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG-4 VIDEOと言います)にエンコードすること。

(ii) MPEG-4 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、もしくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「Wireless software」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「Wireless software」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public Licence(以下「GPL」とします)またはGNULesser General Public Licence(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/